



みの〜れ 20 歳記念事業



リレートーク

前略、みの〜れ様

あなたが、このまちにできると分かってから

私たちは様々な体験をしてきました。

あなたのおかげで、話し合うことの大切さを学び、

大きな夢を膨らませることができ、

文化は、自分たちでつくるんだというパワーをもらいました。

あなたは、みんなの思いがぎゅっと詰まった宝箱。

だから、約束します。

20年後、幸せなあなたの姿を。

今よりもっと幸せなあなたであるように。

これからもよろしく。

物語はここから始まるのだから…(文化がみの〜れ特設ページ引用)

みんなで次のハタチへつなごう。



2022年11月3日祝 開場13時00分
開演13時30分
小美玉市四季文化館みの〜れ

要入場整理券! 全席自由 8月7日(日)午前10時〜

※初日は電話予約とWEB予約のみとなります。

※未就学のお子様のお入場、同伴はご遠慮ください。

入場整理券申込先 | みの〜れ TEL 0299-48-4466 主催 | みの〜れ20歳記念事業実行委員会

[出演] 大嶽一省 | 藤本隆幸 | 植田麻子 | 池津いく子 | 武石千絵子 | 武石春空
美野里中演劇部 | 美野里中吹奏楽部(演奏) | 柴山真理子(MC)
[内容] みの〜れを人生のそばにおいて、イキイキ暮らすライフスタイルを実現している方が「みの〜れライフのすすめ」をテーマに語るトークイベントです。

同時
開催

- ① BIRDモザイクアート展
- ② みの〜れ20歳の歴史展
- ③ BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展



整理券申込サイト



小美玉市 四季文化館

MINOLE RELAY TALK

みの〜れ20歳おめでとう祝
 みの〜れを人生のそばに感じて暮らすライフスタイルを実践している人が語るトークイベント

スピーカー

みの〜れと同年の娘、その母

地元で演劇活動をできる場を求めていた千絵子さんが、演劇ファミリーMyuの門を叩いたのが15年前。みの〜れと同年、20歳の春空（はるか）さんは、千絵子さんに連れられて幼稚園年長でMyuに加入。共にMyuの中核を担う母娘が、みの〜れの魅力と価値をどう感じているのでしょうか。



武石千絵子 / 武石春空

BIRD生みの親

みの〜れコミュニケーションキャラクター「BIRD」の生みの親。みの〜れ誕生前から、地域とみの〜れをつなぐ存在として数々のワークショップを手がけ、以来20年ずっとみの〜れと付き合い、見守ってきました。これまでの20年、これからの20年。クリエイター目線で未来を拓きます。



大嶽一省

文化がみの〜れ物語

みの〜れ誕生までの6年半を、参画した住民自身の手で描いた本（出版：茨城新聞社）。2022年の未来日記から始まり、2002年から20年後へのラブレターで締めくくられています。今回のリレートークは、この「文化がみの〜れ物語」を基に構成・演出される舞台となります。



BIRD

「森の再生」が建築設計コンセプトのみの〜れ。そのコミュニケーションキャラクターとして採用されたのが、BIRD。様々なBIRDにパソコンで色をつけ、自分だけのオリジナルBIRDを作ることができます。Tシャツやバッジ、帽子などにもできるデジタルコミュニケーションツールとして活躍しています。



みの〜れライフのすすめ

みの〜れと共に暮らすライフスタイルを実現している人を取り上げるコラム。ライター藤田佐知子さんが、小路新聞販売売コミ紙に15年前から毎月連載しています。これまで取り上げた方々が178人。「まだまだ紹介しきれない人がたくさんいる」と藤田さん。これこそがみの〜れの強みですね。



小美玉市四季文化館 みの〜れ

2002年11月3日誕生。「呼吸する文化センター」をコンセプトに、人間と同様1歳ずつ成長することを願い、「1歳、2歳」と数え、今年で20歳を迎える。ミッションは「つどう・つなぐ・つくる」。「ホールを通じたまちづくりの新たな人材育成のあり方を示した」として2009年地域創造大賞（総務大臣賞）受賞。メディア、専門誌等への掲載多数。
 TEL0299-48-4466 〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069

みの〜れと太鼓姉妹

幼少期から創作和太鼓集団みのり太鼓に所属。全国優勝の実績を誇るみのり太鼓メンバーの一員として、学生時代から全国各地や世界へ出て演奏を行ってきた麻子さん・いく子さん姉妹。視野が広がった中で、なぜ地元が目に向いたのか、母となった2人に語っていただきます。



植田麻子 / 池津いく子

みの〜れで表現を学び独立開業

まちづくりに燃え、アンテナを張っていた頃にみの〜れと出会う。人前で話すのが苦手だった藤本さんが、今は独立開業して全国各地で講演する日々。みの〜れとMyuで学んだ経験が活かしているそう。一家4人でMyuに参加。「一生懸命打ち込む親の姿を子どもたちに見せられる貴重な場」と語ります。



藤本隆幸

みの〜れ支援隊

みの〜れ全体の事業を専門分野から支えるサポーター約150名。公演時に客席案内やチケットもぎり等を行う「公演スタッフ」、広報紙を作る「みのんば編集局」、宣伝美術部「art minole」、舞台技術「Staff Egg」、劇団「Myu」、楽団「JJ」、ワークショップリーダー、4部門7組織で構成しています。



実行委員会・プロジェクトチーム

住民が企画立案・実行するチームが6つあります。①ライブ企画「光と風のステージCue」②親子企画「おやこマタニティコンサート実行委員会」③美術企画「見つける。みがく。光をあてる芸術展プロジェクト」④ホワイエ展示企画「陽だまり隊」⑤通路展示企画「ときめき隊」⑥アクティビティ企画「OMT-JAPAN」



四季文化館企画実行委員会

みの〜れで活動する13プロジェクトから企画提案を受け、各事業予算の優先順位を示し、事業の評価を生活者の視点から行う「住民によるアーツカウンシル」。新規参加参加画拡大、クリエイターとの共創、異分野とのコラボ促進、外部資金獲得、地方創生の視点を導入するなど、改革を推し進めています。



2002年



2022年

公演を安全安心にご覧いただくために
新型コロナウイルス感染予防のご協力をお願いします



こまめな手洗い・消毒



マスクの着用



外出前の検温



アプリの活用



無理な外出を避ける



できるだけ距離をとる

- ・客席を制限して実施します。
- ・入場時に検温・消毒を行います。
- ・会場でのソーシャルディスタンスを確保します。
- ・チケットもぎりは実施しません。
- ・会場スタッフもマスクを着用します。